

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587036902	科目番号 / Subject code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Subject	教育と社会 (教育相談) / Educational Counseling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第33講義室 / Room 33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に講義室で受付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標/Goal	教育相談の意義や役割について説明することができる 実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義・演習(個人及びグループ)		
授業内容/Class outline/Con	第1回 教育相談の意義と役割について学ぶ 第2回 カウンセリングの基本技法について学ぶ 第3回 学校現場の諸問題(不登校等)について理解する 第4回 学校現場の諸問題(いじめ等)について理解する 第5回 学校現場の諸問題(発達障害等)について理解する 第6回 居心地の良い学級づくりのためのカウンセリング技法を学ぶ 第7回 課題を抱える子ども(保護者)のためのカウンセリング技法を学ぶ 第8回 課題解決のための演習?(問題の焦点化) 第9回 課題解決のための演習?(問題の深化) 第10回 課題解決のための演習?(問題とその対応についての発信) 第11回 発表? 第12回 発表? 第13回 振り返り 第14回 振り返り 第15回 危機介入 第16回 授業の総括(まとめ、試験を含む)		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	適宜、伝える。		
キーワード/Key word	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書: 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(40%) 授業ごとのレポート(45%) 授業への参加度・貢献度(15%) 合計60%以上を合格とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教育相談の意義と役割		
第2回	カウンセリングの基本技法		

第3回	学校現場の諸問題（不登校等）への理解
第4回	学校現場の諸問題（いじめ等）への理解
第5回	学校現場の諸問題（発達障害等）への理解
第6回	居心地の良い学級づくりのためのアセスメント
第7回	課題を抱える子ども（保護者）のためのカウンセリング技法
第8回	課題解決のための演習?（問題の焦点化）
第9回	課題解決のための演習（問題の深化）
第10回	課題解決のための演習?（問題とその対応についての発信）
第11回	発表?
第12回	発表?
第13回	振り返り?
第14回	振り返り?
第15回	危機介入
第16回	総括およびまとめのテスト

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587037701	科目番号 / Subject code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Subject	教育と社会 (身のまわりの科学) / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fukuyama-takao nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部414号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2337		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 6校時目, 研究室にて		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	私たちは、日常生活において当たりまえのように科学の産物を享受しているにもかかわらず、それらを科学的に考える機会は少ない。ミクロからマクロまで広がる科学的な視野をもって、私たちの日常生活と自然科学との関わりを見つめなおして理解することを、本授業のねらいとします。		
授業到達目標/Goal	以下を本授業の到達目標とします。 ?知識・思考 ・日常生活と先端科学は、かい離したものではなく密着したものだという認識ができる。 ?技能・表現 ・日常生活と先端科学の関係について、他者に自分の言葉で分かりやすく説明できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	身のまわり科学について、「先端科学」、「宇宙」、「生命」に関する各テーマの視点から、アプローチを行います。必要に応じて、ビデオや演示実験を取り入れながら、授業を進めます。		
授業内容/Class outline/Con	授業は、「先端科学」に関する探究、「宇宙」に関する探究、「生命」に関する探究、新しい科学「カオス」の探究、の順序で実施します。 ・本授業では、グループによるアクティブラーニングを基本とします。 グループと席については、ガイダンスの時に授業者側で指定します。 ・スケジュールは、進捗により多少の変更を加える可能性があります。 ・「新しい科学(カオス)」では、各自電卓を持参してください。 (電卓機能付きの携帯電話・スマホでも可)		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	興味を持ったテーマについては、図書館等を活用して自分で深く調べてみてください。		
キーワード/Key word	先端科学, 宇宙, 生命, カオス, 探究学習		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要な資料は配布します。参考図書は、授業中に適宜紹介します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	ミニレポート(授業への取り組み): 60%, 最終レポート: 40%により、評価します。 全体の3分の1以上を欠席した場合は自動的に失格とします。 授業時には毎回、出欠を確認します。2回遅刻 = 1回欠席、として換算します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	自然科学について勉強したい、という意志を持っていること。「能動的」に、授業に参加できること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り 組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	自然科学の教養を身につけておきたい、という意志のある学生を歓迎します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス		
第2回	「先端科学」に関する探究 1		
第3回	「先端科学」に関する探究 2		

第4回	「先端科学」に関する探究 3
第5回	「先端科学」に関する探究 4
第6回	「宇宙」に関する探究 1
第7回	「宇宙」に関する探究 2
第8回	「宇宙」に関する探究 3
第9回	「宇宙」に関する探究 4
第10回	「生命」に関する探究 1
第11回	「生命」に関する探究 2
第12回	「生命」に関する探究 3
第13回	新しい科学（カオスの科学） 1
第14回	新しい科学（カオスの科学） 2
第15回	授業のまとめ

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/02		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587038501	科目番号 / Subject code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Subject	教育と社会 (環境と社会) / Environment and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 内野 成美 / Utino Narumi, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-fuji nagasaki-u.ac.jp, izumi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部技術美術教棟111室、教育学部棟231室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2360、2406		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	地球環境問題やエネルギー問題など現代社会が抱える問題について、「共生社会」の構築という視点で個人の有り様を問い直す講義です。なぜ「人間の多様性」を認め合う必要があるのか、どのようにそれを考えていけばいいのか、その視点が自らにあるか、個人の価値観のみならず、社会的な意志決定の方法や課題を認識することで、追求します。		
授業到達目標/Goal	多様な価値観の存在を認識し、互いを認め合う視点や共生社会の実現のあり方について考察し、それらの実現にたいする自らの態度や関心について省察できる。また、環境やエネルギー問題に対して、自ら課題を認識し、社会で変革するための手法を説明できる。その変革に関わるための態度や実践力を養い、持続可能な社会作りに貢献するための自身の役割を説明できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	一般的な講義と参加型・体験型学習を織り交ぜながら実施します。また個人ワークと班ワークでの活動があります。そして適宜出される課題や自ら設定した課題を行ってもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	第1回はオリエンテーション、第2回から第7回は、主に社会の中における人間の多様性について扱い、社会環境を協働して構築していく際の視点を養うことを目的とする。第8回から第14回は、持続可能な社会構築に向けた環境・エネルギー問題に対する個人・社会的取り組みと、解決方法としての参加型合意形成を体験的に学習する。第15回は課題に関する発表と討論を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	関連するニュース記事を収集し、分析しておくこと。各自の光熱水量データなど自宅や事業者に関心があるものも合わせて集めるものもありますので、講義やLACSの指示に注意してください。		
キーワード/Key word	共生社会、多様性、インクルーシブ教育、自己理解・他者理解、ユニバーサルデザイン、バリアフリー、環境問題 (地球温暖化、廃棄物問題、水問題など)、エネルギー問題 (電源選択、高レベル放射性廃棄物処理など)、ガバナンス、価値観、意志決定		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書: 遠藤まめた『先生のためのLGBTガイドブック』(合同出版、2016)、宮島喬『外国人の子どもの教育: 就学の現状と教育を受ける権利』(東京大学出版会、2014)、阿部彩『子どもの貧困? 日本の不公平を考える』(岩波新書、2008)、青山新吾他『インクルーシブ教育ってどんな教育?』(学事出版、2016)、内閣府『障害者白書』他 参考書: 環境白書、エネルギー白書、刀根薫「ゲーム感覚意思決定法 AHP入門」など、講義資料はLACSに掲載します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各課題の評価 (50%) 最終レポート・発表 (30%) 講義におけるディスカッション等での貢献度 (20%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	環境問題やエネルギー問題に強い関心を持つ学生で、積極的に議論に参加できること。(グループ・全体での討論が多いことを事前に認識しておいて下さい)		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	オリエンテーション(目的、学習方法、ルールなど)、アイスブレイキング(グループ決め、認知確認など) 担当: 石川・藤本		

2回目	外国にルーツをもつ子どもたちと教育・社会 担当：石川
3回目	セクシャル・マイノリティーと教育・社会 担当：石川
4回目	子どもの貧困と教育・社会 担当：石川
5回目	特別ニーズと教育・社会? (障害と自分の関係、特別ニーズとは何か) 担当：石川
6回目	特別ニーズと教育・社会? (共生社会と相互理解) 担当：石川
7回目	多様性を認めあう社会の実現に向けて 担当：石川
8回目	環境問題と私たちの暮らし (グループ課題決定) 担当：藤本
9回目	持続可能な社会を目指して!?(エコロジカル・フットプリントから考える) 担当：藤本
10回目	持続可能な社会を目指して!?(解決手段の検討) 担当：藤本
11回目	地球温暖化とエネルギー問題 担当：藤本
12回目	私たちの暮らしを支える電気 担当：藤本
13回目	電気のごみを考える?(高レベル放射性廃棄物など) 担当：藤本
14回目	電気のごみを考える?(高レベル放射性廃棄物の処分方法・処分地選定の合意形成) 担当：藤本
15回目	課題発表と総合討論 担当：石川・藤本